

第18回「共に生きる障がい者展」の中止について

【方向性】

事業の開催目的を達成することが困難なため、今年度は中止する。

【理由】

「共に生きる障がい者展」（通称「ともいき」）の大きな目的は、障がいのある人、ない人が一堂に会し、相互理解を深めるということ。そのため、参加・体験型イベントが多く、ふれ合いを通じてお互いを知ることが目的としている。

開催予定の11月時点における、新型コロナウイルス感染症の終息見通しは立っておらず、三密を回避しての開催は困難であると考え。また、実施するとしても、参加・体験型ではなく、伝達型・講義型のイベントが主体となり、相互理解、ふれ合いという大きな目的の達成が困難である。

あわせて、イベント参加者には、重症化リスクの高い方、難病患者等、配慮を要する方が多く、徹底した安全管理が求められる中、参加者全員の安全を確保することは困難である。

さらに、「ともいき」実施にあたっては、大阪府職員による事前準備、また、当日の運営にあたっては多数の職員の協力を得てきたが、現在、大阪府においては、新型コロナウイルス感染症対策のため事業見直し等が行われている状況であり、実施に向けての同様の協力が見通せない状況である。

以上のことから、事業の開催目的を達成することが困難であるため、今年度は中止する。

（なお、第43回障がい者作品展について、「共に生きる障がい者展」と一体的に開催することにより、相乗的な効果を生んでいる事業であるとともに、「共に生きる障がい者展」同様、感染リスクを回避しながら単独で開催することが困難であるため、今年度は中止する。）